

広島県中小企業団体中央会 2017年10月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

10月の出荷量は前月比3.6%減少、前年同月比22.0%減少、売上高は前月比0.2%増加、前年同月比18.3%減少となった。対前年同月比減少は、昨年9月～12月、スポットによる出荷量増加によるものである。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

昨年に比べると秋需要が今ひとつである。

広島県木材協同組合連合会

平成29年9月の全国の住宅着工戸数は83,128戸で、前年同月比2.9%減少

季節調整済年率換算値では95.2万戸（前月比1.0%増加）

利用関係別では、持家は24,883戸で前年同月比2.7%減少、貸家は37,521戸で前年同月比2.3%減少、分譲住宅は20,202戸で前年同月比5.3%減少となった。

木造住宅の着工数は48,385戸で、前年同月比2.7%減少

住宅着工の動向は、前年同月比で3ヶ月連続の減少

広島県内の9月の着工戸数は1,841戸で前年同月比14.4%増加、このうち、持家は497戸で前年比11.6%の減少、貸家は664戸で前年比12.0%増加、分譲は680戸で前年比55.6%の増加

県全体の住宅着工の動向は、前年同月比で再び増加に転じ、プレカットは依然好調である。

地域別では広島市が着工戸数946戸で16.6%増加、福山市が358戸で44.9%増加、尾道市が136戸で240.0%増加、東広島市は106戸で21.8%増加

廿日市市は66戸で27.5%減少、呉市は53戸で30.3%減少

昨年には至らないが、依然高水準で推移しており、年末までの仕事量に不足感はなさそうである。

需要の継続性について先行き不安の声もあり、経営規模や業態によって景況感に偏りがある聞き取り結果となっており、中小会員の経営環境は厳しく、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

相変わらず厳しい景況が続いている。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

景況に特に大きな変化は見られない。

中長期の人手不足対策に頭を痛めている。全組合員がコツコツと求人意思を発信するよう努めている。

海外マスコミから日本製造業全体の品質への疑問の声が上がっており、データを正しくとって報告しているか等、早めの対処が必要である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上、設備操業度は全体的に各社横ばいから良い傾向にある。

自動車関連も同様に10月、11月は新車の立ち上がりで設備操業度は増加傾向にある。

消費財製造市場は横ばい傾向である。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年10月 3,053m³ (対前年比8.7%減少)

29年 9月 3,181m³

28年10月 3,345m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軀鉄鋼協同組合連合会

兵庫県の鉄鋼メーカーの問題で、溶断業を行っている事業者にも影響が出ており、客先から違うメーカーの鋼板を求められるが、足下を見られるのか、急な値上げがある場合もある。

上記以外でも、鉄や非鉄の原材料単価が上昇傾向にある。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部江波地区においては、前月同様、航空機のパネル組立ペースが月産4機～5機で推移しているが、今後下降見込みである。

観音地区のタービン、コンプレッサーについては前月に引き続き上昇見込みである。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、自動車関連の動きが出てきたこと及びスポット受注による増減と出荷時期変更等により、対前月比20.0%増加、対前年同月比10.0%増加となった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は、輸出売上が微増したが、国内の売上減により、前月比13.4%減少、前年同月比9.2%減少となった。

最低賃金の上昇が経営を圧迫している。残業規制が厳しくなればこのことも、大いに経営を圧迫する。雇用問題、賃金問題、残業規制等中小企業にとっては厳しいものばかりである。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。マツダの国内生産台数が継続して高レベルにあるため、好況を維持している。

10月の国内自動車販売台数は全需が372千台、前年同月比1.7%減少と12ヶ月振りの前年割れとなった。登録車は前年比4.7%減少と3ヶ月振りの前年割れ、軽自動車は3.7%増加と7ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダ車は8.1%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

アメリカの9月の全需は1,524千台で前年同月比6.2%増加と9ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同3.4%増加と6ヶ月振りの前年超えとなった。

欧州の9月の全需は1,638千台で、前年同月比1.7%減少と5ヶ月振りの前年割れとなった。マツダ車は同4.9%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

中国の9月の全需は2,674千台で、前年同月比4.0%増加。マツダ車も同1.2%増加と8ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の9月の海外販売合計台数は126千台、前年同月比2.3%減少と3ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの9月の輸出動向については、輸出台数は前年比0.4%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

マツダの9月の国内生産台数は、前年同月比5.7%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年10月の船舶建造許可実績は5隻278,400総トン（前月2隻156,950総トン、前年同月9隻754,550総トン）であった。なお、このうち2隻は貨物船で3隻が油槽船。国内船が1隻、輸出船は4隻となっている。

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

比較的好調であったベッド関係が苦戦しており、リビング、ダイニング関係は横ばい、コントラクト（ホテル関係）は堅調に推移している。全体では前年比変化なし。住宅着工件数が前年割れとなっており、今後の動向を注視していきたい。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合福山卸センター

需要の停滞等により売上の確保が厳しい状況である。

賃金の上昇等により、総人件費抑制のため、パート採用を抑え気味である。

協同組合広島総合卸センター

中小卸売業者は、大規模店舗の出店や販売先小売店の閉店等の他、大手卸売業者の寡占化により厳しい状況が続いている。

「資材関連」においては、マンション等民間工事は減少傾向、公共工事も伸び悩み、受注面においては厳しい。一部競争激化となり、採算面悪化が懸念される。

「雑貨」においては、日用雑貨は販売苦戦、対前年比減少が続いている。

「食品」においては、大手問屋の攻勢激化による採算低下となっている。

「繊維」においては、10月の台風の影響で売上が落ち込んでいる。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の8月の着工状況は、前年比10.3%減少（内訳 持家10.5%減少、分譲34.8%減少、貸家23.0%増加）となり、貸家が増加したが、持家、分譲が大きく減少した。

今後の注目として、EV自動車の普及に伴うEVインフラ需要の増加により住宅でのEVコンセント工事等が増えてくることが予想される。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

連休に台風が直撃したことにより、売上高に影響を及ぼした。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国内の主産地である熊本産地では、フル生産の時期ながら10月は雨の日が多かったため、もち米の収穫作業が遅れているため、天気の良い日は外作業に手を取られ、製品の出回りは増えていない。秋需期からこの先の受注に備え、品質の良い製品の手当をしておかなければと買い気がでている。草質がよく、しっかりとした製品は高値のまま推移している。広島県産は本びんご畳表の受注があるため、フル稼働を行っているが、一度に多くは生産できないため相場は製品の出回り不足から強気配のままとなっている。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

前年に比べ外部のイベントが少なく、集客にも影響した。毎週末天候が悪く、客足が遠のいた。チューリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

大型店の出店と異業種の食品販売により今後は景況感の悪化が予測される。

求人募集をしても人が集まらない。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

10月度の販売実績は前年同月比2.2%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比4.3%減少、冷蔵庫同1.5%減少、洗濯機同0.2%増加、IHクッキングヒーター同1.3%減少、エアコン同2.9%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

原油価格の高騰及び為替が円安傾向にあることから、原油の調達コストが上がり続けており、当然、石油販売業者の仕入コストも上がってきている。販売価格の上昇は一層の需要減少に繋がりがかねない。

サウジアラビアの政権不安定など地政学リスクの高まりにより来月も原油価格上昇の可能性があり、資金繰りを含め、業界の見通しは厳しい。

仕入価格を下回る販売価格が存在し続けているにもかかわらず、行政は不当廉売に対する対応が鈍いと感じる。実態に即した迅速な対応をお願いしたい。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

今月の売上は、広島東洋カープのCS敗退の影響が大きい。

呉本通商店街振興組合

空き店舗となっていた食堂跡地に理髪店が開業予定。

量販店との競合による売上不振が原因で12月末、家具屋が閉店を予定している。跡地はマンション用地として売却を予定している。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比5.4%減少、前年同月比5.4%減少。車検場収入は前月比2.8%減少、前年同月比4.6%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比2.2%減少、前年比7.3%減少となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

衆議院選挙、知事選挙と特需はあるが、依然として売上については低調である。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計で前月比157.8%となったが、これは9月の大幅な悪化が原因であり、前年同月比79.8%、累計でも前年比73.5%といずれも振るわず、昨年度と同様に年明け1月～3月の最盛期での需要に期待している。

神辺建設業協同組合

例年と比べ官公庁の発注件数が減少している。民間の設備投資もやや鈍化している。

引き続き若年者雇用が業界全体の喫緊の課題となっている。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比2.2%増加、前年同月比25.6%減少となった。

運輸業

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

前年より運転手・作業員の不足が顕著で、依頼はあっても請けられない状況となっている。運賃は上昇しているが、支払運賃コストも上昇しており、収益状況、景況感は悪化している。

松永地区トラック事業協同組合

10月は売上高、収益状況とも前月比変化なしとなった。

中でも住宅関連の輸送は住宅金利の影響もあり、高止まりの状態が続いており、ダンプ等土木関係の輸送でもこの時期は高速道路等の若返り工事等があり売上が伸びている。

特別積み合わせ貨物(西濃、佐川、福通等)は運賃値上げを荷主と交渉して段階的に実施しているが、区域貨物(貸切便)では競合するトラック事業者があるため、交渉すら実施されていないのが現状である。

「運賃」と「料金」を明確に区別する新標準貨物自動車運送約款が11月4日に施行されたことにより、運賃値上げと並行して諸料金の収受の交渉がいかに行われるかが今後注目される場所である。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

売上高、収益状況とも対前月比対前年比共大きな変動はなかった。

しかし、中東原油価格が協調減産延長合意等により国内市場において1L/3円～4円の値上げとなった。引き続き来月も値上げ基調であり、コストアップが避けられない状況になってくると思われる。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月は公的評価報酬の入金等があり好転していたが、今月は売上高の減少で収益状況もやや悪化している。前年同月比は特に変化なし。

国の財政悪化の影響により公的評価報酬の値下げが検討されている。

